

「第 7 回 大阪肝臓病ワークショップ」のご案内

謹啓 新春の候、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、この度「第 7 回大阪肝臓病ワークショップ」を下記の通り開催する運びとなりました。ご多忙中誠に恐縮ではございますが、何卒ご参加賜われますようお願い申し上げます。

当番世話人

大阪市立大学 核医学 塩見 進
大阪市立大学 卒後医学教育学 廣橋 一裕

謹白

記

日時 : 平成 23 年 2 月 15 日(火) 19:00 ~ 21:00

会場 : 天王寺都ホテル 5 階「信貴の間」

大阪市阿倍野区松崎町 1 - 2 - 8 Tel.06 - 6628 - 3200

開会の挨拶 大阪市立大学 卒後医学教育学 教授 廣橋 一裕 先生

《一般演題》 座長：大阪市立大学 卒後医学教育学 教授 廣橋 一裕 先生

1. 「B 型肝炎関連肝細胞癌切除例における核酸アナログの効果」

大阪市立大学 肝胆膵外科学 浦田 順久 先生

2. 「当科における造影超音波の位置付け」

大阪市立大学 肝胆膵内科学 講師 小林 佐和子 先生

《特別講演》 座長：大阪市立大学 核医学 教授 塩見 進 先生

『肝細胞癌の診断と治療の進歩』

武蔵野赤十字病院

副院長/消化器内科 部長 泉 並木 先生

閉会の挨拶 大阪市立大学 核医学 教授 塩見 進 先生

講演会終了後、意見交換会を予定しております。

また、本会は先生ご自身の交通費を、弊社にて実費負担させて頂く場合がございます。その際は弊社より、共催機関及びご施設のルールに則り、個別にご相談させていただきますので宜しくお願いいたします。